

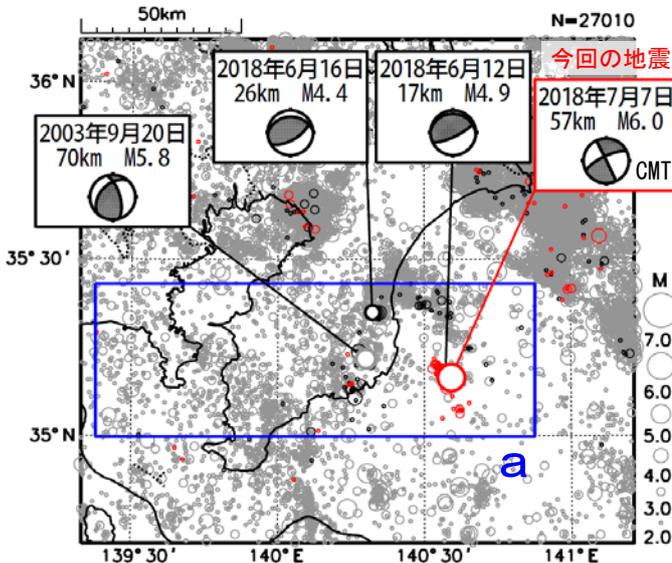
7月7日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

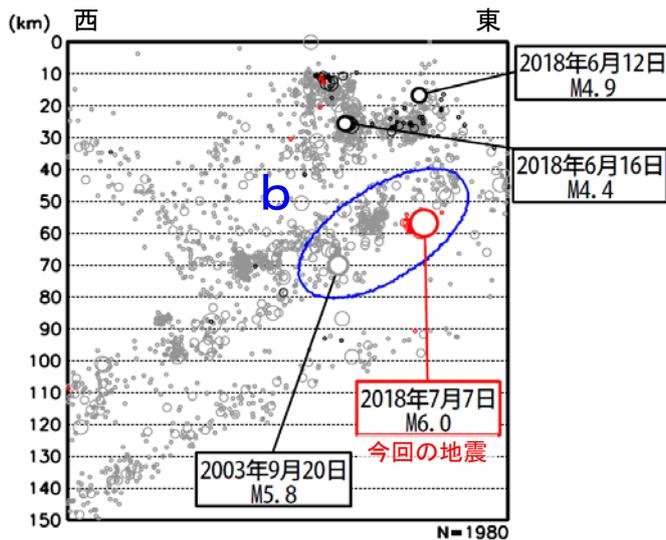
(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2018年6月1日～7月6日の地震を濃く表示

2018年7月7日以降の地震を赤く表示

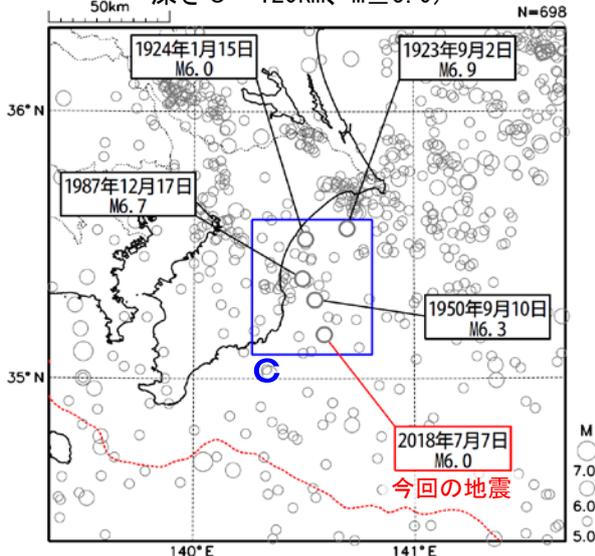


領域 a 内の断面図 (東西投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



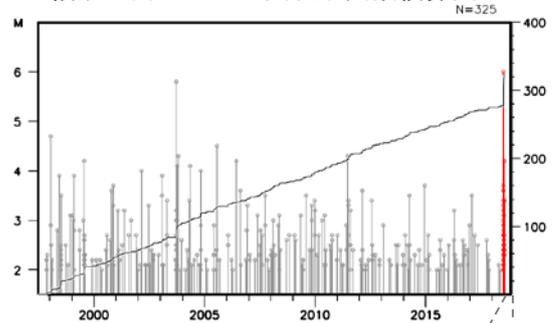
2018年7月7日20時23分に千葉県東方沖の深さ57kmでM6.0の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、6月3日からまとまった地震活動がみられ、6月12日にM4.9の地震 (最大震度3)、同16日にM4.4の地震 (最大震度4) が発生しているが、これらとは深さが30～40km程度異なっている。

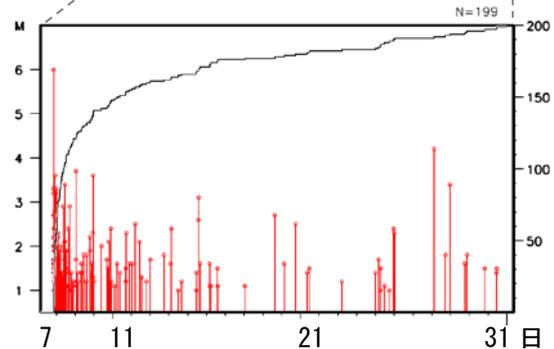
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2003年9月20日にM5.8の地震 (最大震度4) が発生し、負傷者8人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域c) では、M6.0以上の地震が4回 (今回の地震を除く) 発生しており、このうち1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖の地震 (M6.7、最大震度5) では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家一部破損7万余棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



(2018年7月7日12時～31日、 $M \geq 1.0$)



領域 c 内の M-T 図

